

はじめに

ここに令和元年度版「堺市統計書」を発行いたします。

本統計書は、堺市の人口、産業、経済、教育・文化、市民生活、社会福祉等の各分野について、基本的な統計資料を総合的かつ体系的に収録し、市勢の現状ならびにその推移発展を明らかにしたものです。

最近の社会情勢の変化に伴い、統計情報の需要が一段と高まり、その利用についても、内容が高度化、多様化しております。これらの情勢に対処するため、編集に当たっては、利用者の便宜を図る上から可能なかぎりの資料を収録し、より使い易いように種々の改善を加えましたが、なお内容体裁等に不十分なところもあろうかと思っておりますので、今後とも各方面からのご意見を得まして、さらに内容の充実に努力してまいりたいと存じます。

なお、本書の編集に際し、貴重な資料を提供していただきました関係各位に対し、深く感謝するとともに、今後ともなお一層のご指導・ご協力をお願いいたします。

令和2年3月

堺市市長公室企画部

凡 例

- 1 本書は、原則として平成26年（年度）から30年（年度）までの数値を収録した。
また、資料の保存、比較対照の便を考慮し、できる限り年限をさかのぼって収録した。
- 2 表章区域については、他の区域と区別する必要のない限り堺市という名称を省き、例外的なものについては頭注で表章区域を示した。
- 3 統計表は、特に頭注等にことわりのない限り「何年」とあるのは年間（1月～12月）、「何年度」とあるのは年度間（4月から翌年3月まで）の数値である。ただし、平成16年度及び17年の数値については、ことわりのない限り旧美原町との合併（平成17年2月1日）以降の数値を記載している。
また、「何年末」、「何月末」あるいは「何月何日」とあるのはその期日現在の数値である。
- 4 資料は、各官公庁、団体、会社及び庁内各局部課などからの提供、報告によるもの、又は企画部調査統計担当において直接収集したもので、出所名は各表下部に掲げた。
- 5 統計表の一般的な説明（調査の範囲、調査方法、項目の説明及び計数の算出方法等）は頭注とし、表中の数値の単位については原則として各表の上部左端に注記した。また、一見して明らかなものは省略した。
- 6 数値について、単位未満四捨五入の関係により、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もある。
- 7 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。

0	……………	単位未満
—	……………	皆無又は該当数字がないもの
…	……………	不明又は不詳
x	……………	該当数字の公表をさし控えたもの
△	……………	減少または負数